

⑤ 「ライフスキル」

上級教育カウンセラー 富永妙子

- ・ライフスキルといっても、切り口が多様で幅広い分野であると感じた。自分らしさや他者との関係とは何かを考えるきっかけになった。
- ・よりよい支援者になるための様々な知識と方法について、ご説明頂きありがとうございました。自分のことを客観的に知ること、EQ、ストレス度等、学ぶべき点が多くありました。
- ・富永先生の以前の講座（発達段階）での「子育て四訓」は今でも覚えていて、現場でも活用しています。今回も数々の名言を頂き大変参考になりました。いくつか聞き逃したセリフもありますので、次回是非もう一度教えてください。ワークシートの活用も大変良かったと思います。

⑥ 「スーパービジョンの基礎知識と行い方」

北海商科大学教授 大友秀人

- ・スーパービジョンをするときの目的や留意点を再確認できた。年1回ではなく継続して学び続けなければと痛感しました。
- ・SGE方式スーパービジョンで、あちこちにゆれる自分がまた出てきていました。ケースに対しての気づきと共に、自分の内面への気づき、両方あり、今後へつなげるきっかけとなりそうです。
- ・実際のスーパービジョン、そしてシェアリングでのスーパービジョンを体験させて頂き、とてもよかったです。”体験”を”経験”に（午前には話してました）を心にしっかり刻みました。遠い沖縄までいらして頂き感謝、受講して何か心に新風が入った感じです。

《全体を通しての感想》

- ・なによりも、スタッフの方々、参加された先生方、沖縄の方々のホスピタリティに感動しました。前からいい所だと思っていましたが、より好きになりました。ぜひ京都にもおこしてください。本当にありがとうございました。
- ・楽しく学ぶことが出来、大変貴重な充実した時間でした。國分康孝先生にいつかお会いできると良いと思います。
- ・先生方、本当にありがとうございました！ 準備大変だったと思います。もっと若い人のお手伝いが必要だろうと感じ、私たちがお手伝いできるようがんばらなくてはと思いました。



ご心配と応援、ありがとうございます。心強いです。

沖縄教育カウンセラー協会は高齢化の波が押し寄せております（笑）。若い力をお待ちしています。

2：今年も夏期講座やりま〜す！

2018年8月5日（日）～12日（日）の日程で夏期講座を予定しております。詳細が決まり次第お知らせいたします。会員の皆様に有意義な学びの夏をお届けできるよう、夏期講座担当理事が企画・講師の調整等、頑張っています。皆様も日程を開けておいてくださいね。乞うご期待！

3：國分康孝先生・久子先生 祝・米寿

國分康孝先生、久子先生、ご夫婦そろって米寿を迎えられます。本部では5月20日にお祝いの交流パーティーが開催されます。沖縄支部からも副代表の下門と波平が参加させていただきます。國分両先生には、これからもますますお元気にご活躍頂きたいと思っております。

10年ほど前（2009年）になりますが、「**國分康孝の談話室**」という動画が作成されています。10分以内の動画ですが、毎回のテーマごとに國分先生がご自身の思うところを気負いなくお話しされています。第1回目の「人生の目的」を、以下に紹介させていただきます。



今日は人生の目的という題をつけてしゃべろうと思います。

ニールは「人間には人生の目的はない」といい切った人。何のために生きるのかという目的は自分で考える事。このことに青年期にふれてなるほどと思ったことがある。

その後色々勉強してみるとですね、私が今一番気に入っている哲学は「実存主義」何ですけど。この実存主義の哲学でですね、ダーザイン（Dasein）という言葉があるんですよ。

ダーはThere。ザインはIsですね。ダーザインという意味はですね、ふと気づいたらそこに投げ出されて生きていたのが僕たちなんで、何のためにそこに投げ出されているかは誰も知らない。そこから先僕たちは自分で生きる目的、生きる意味を設定していくのだと。平たい言葉でいえば、人の自由を侵さない限り僕たちは自由に生きる権利があるのだから、思う存分自分のしたいことを考えてまっしぐらにすればいいんだと、こんなような考えが実存主義にあるんですが、そこで私は私なりに一生懸命自分の目的を探してやってきたわけですが、自分のことや人の生き方やそれから文献やら、総合判断して今のところ、生きる目的を分類したら2つになるんじゃないかと思っているんですよ。1つは、「人の為に役立つことをするという生き方」と、もう1つは「自分の欲をみたすために人から取って生きていく」という。ギブ&テイクという言葉がありますが、ギブ思考とテイク思考と。それで僕の勉強してきたカウンセリング心理学には実存主義が入ってきているものですが、多くの人は与える人生の方がいい生き方なんだというような考え方のようですね。私もそういう考えなんですよ。

ある時私の属する日本カウンセリング学会に柏木先生をお呼びして話を聞いたことがあるんですが、この先生は日本でごく初期にターミナルケアを淀川キリスト教病院で実践した方なんですよ。この先生がおっしゃるにはですね、患者が死んだあと、気持ちがさわやかになる人と、気持ちが重くなる人という。スカッとした気持ちになれる患者というのは、死ぬときに「お世話様でした。ありがとうございます。」と言って気持ちよく死んでくれる人。あと、気持ちがぐら〜くなる人はですね、「死にたくない、死にたくない。」と言って生に執着しながら死んだ人。それで柏木さんが言うのによると「ありがとうございますと言って気持ちよく死ぬ人はどんな人か」というと人に与える人生を今まで歩んできた人なんだと。死にたくないと言って性に執着ながら死んでいく人はどんな人か」と、人から奪う人生を営んできた人に多

かったという事なんですよ。それですね～、そこから僕は思いついてですね～、僕がカウンセリングを教わった師匠のお一人にともだ富士夫という先生がおられたんですが、この先生がですね、「カウンセリングというものは死に方を教える学問なんだ」と。「死に方を教えるとは生き方を教えるんだ。」と。で、いい生き方とは何かと。こんなことを僕たち学生に考えさせる人でしたが、今のところ私はですね、人に与える人生、これを私はある時から気付き出して、意識してやっているわけですが、これから人生を構築していく人はですね、選り取り見取りですよ、人間は人の自由を侵さない限り自分のしたいことをする自由があるんだから選り取り見取りですけど、ま、大筋を言えば人に与えるような生き方を僕は推奨したい。それはですね～、戦争中ユダヤ人が捕まって、アウシュビッツでたくさん死んだわけですが、もうあと2、3日で死ぬという人が、医者診断を拒否したと。私が人に与えられるものは、「休息の時間」です。この先生が私の診察をしなれば、2分か3分は休息できるはずだと。私は先生に2、3分の休息を与えることぐらいはできますので診察を辞退したいと。もうお一方は、「私はご飯を食べたところで直に死ぬのだから私よりも長生きする人が食べた方が意味がある」と言って、食べ物を他の人に回した人がいると。人間はどういう状況になっても、自分のできる範囲で与える生き方をするのが、やっぱりいいんじゃないかと。いいんじゃないかという意味はですね、人さまざまですけども、私は柏木先生の話からして、いい生き方をした人は気持ちよく死ねるんだから、やっぱり与える人生を営んだ方が、いい生き方、すなわちいい死に方につながるんだと、そういう風に思っているんですけど。ま、第1回目ですから今日はこのくらいにします。次々としゃべっていきますが、しゃべる度毎に内容としゃべり方がうまくなってくると思うのですよ。はい、どうもありがとうございました。

國分先生らしい茶目っ気が出ています。

4：お願い

○年会費について

会員の皆様にお納めいただいている年会費（3000円）は、沖縄教育カウンセラー協会の活動を支える主要な財源です。協会の継続・発展のためにも皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。尚、年会費**3年分未納の場合は自動的に退会**となります。会費納入状況をご確認希望の方は事務局までお問い合わせください。

○キャンセルについて

夏期講座受講の申し込み、及びキャンセルは、(可能な限り)各講座開催の3日前までにお願いします。今年度は、皆さまのご協力で、資料や準備物の過不足の問題は改善されました。しかしながら、定員オーバーにより受講申込をお断りしたにも関わらず、当日は無断キャンセルにより受講枠に余裕がでた講座も複数ありました。引き続き、ご理解とご協力をよろしく申し上げます。

JECAO

定非営利活動法人 日本教育カウンセラー協会沖縄支部

〒902-0061 沖縄県那覇市寄宮 1-8-48 那覇教育会館 4階

電話 098-851-5257 F A X 098-851-5258

メールアドレス jecaokinawa@otc.ne.jp

ホームページ：<http://www.otc.ne.jp/~npo-oeca/>